

ウイルス性肝炎の撲滅に向けて

座長 川西 なみ紀 (JR広島病院)

演者 関藤 真由美 (安佐市民病院)

長沖 祐子 (マツダ株式会社マツダ病院)

当院の肝炎ウイルス検査陽性者拾い上げ活動

ASA肝臓チームで行うフォローアップ

◎関藤 真由美¹⁾

広島市立北部医療センター 安佐市民病院¹⁾

当院では、肝炎ウイルス陽性患者の適切な受診を目的として、2013年7月に「いきいき肝臓チーム」を発足し、肝炎ウイルス陽性患者の拾い上げを開始。その後「ASA 肝臓チーム」に名称を変更、今年で活動10年目となる。チームには、医師・看護師・薬剤師・医療クラーク・臨床検査技師が所属している。本セミナーでは、ASA肝臓チームの活動内容とチーム内での臨床検査技師の役割、ASA肝臓チームの実績、今後の課題などをお話したい。

B型・C型肝炎治療の現状と当院の肝炎対策の取り組み

◎長沖 祐子¹⁾

マツダ株式会社マツダ病院¹⁾

近年、B型・C型肝炎の治療薬は飛躍的に進歩し、今後は肝癌発症や再発抑制、さらに生命予後の改善効果が期待され、肝炎ウイルス検査陽性患者に対する早期治療が重要である。当院では肝疾患領域における診療の充実を図るため、検査技師を含む多職種で構成される肝炎チームを発足した。今回は最近のB型・C型肝炎治療と当院での肝疾患診療の院内連携の強化や肝炎ウイルス検査の受検勧奨などの具体的な活動をお示ししたい。